

# 第5学年 外国語活動学習指導案

指導者 小倉仁志  
平野ユキ子

## I 単元名

Lesson 4 「I like apples.」 (「Hi, Friends!」 文部科学省)

## II 単元の指導構想

### 1 学習指導要領に示されている指導目標及び内容

#### ○目標

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

#### ○内容

##### 1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることに関する指導事項

- (1) 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- (2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。
- (3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さをすること。

##### 2 日本と外国語の言語や文化について、体験的に理解を深めることに関する指導事項

- (1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言語の面白さや豊かさに気付くこと。

#### 2 教材について

本単元は、好きなものや苦手なものを話したり聞いたりする活動を通して、コミュニケーション能力の素地を養うことをねらいとしている。

子どもたちにとって、ものの好き苦手を話すことは、これまで自己紹介場面で話す経験をしていることが多く、あまり抵抗を感じることがないとともに、活動の必然性もちやすいものと考えられる。

また、言語材料としては、食べ物や飲み物、スポーツ、動物を取り上げており、子どもたちが日常生活の中で聞いたことがある言葉や前単元までに取り扱った言葉を中心とし、無理なく活動が展開できるようになっている。

さらに、基本的な尋ね方であり、次単元以降も使われる「Do you like〜?」を導入することにより、尋ね方に慣れ親しませていく。

#### 3 子どもについて

子どもたちは、他教科等の活動を通し、相手の話を真剣に聞いたり、相手に伝わるように話したりしようとする態度が育ってきている。また、分からないことがあれば質問をし、より分かり合おうとする姿も見られる。これは、日頃から相手のよさを認め合おうとする関係性が築かれてきており、安心して活動が行える学級風土が醸成されてきているためであると考えられる。

外国語活動は、5年生になって初めて行う活動であり、戸惑いを見せることもあったが、ゲームやチャンツ等を通して、活動の楽しさを味わえるようになってきている。また、ジェスチャーを交えた挨拶の活動などを通して、コミュニケーションの大切さや楽しさを実感してきている。

そこで、自分のことを紹介する活動を通して、豊かに表現したり、より深く理解しようとしたりする態度を育てていきたい。

#### 4 復興教育（3つの教育的価値）との関連

人の絆の大切さ[かかわる]「⑨【仲間や地域の人々とのつながり】とのかかわり」

互いのよさや頑張りや認め合いの分かち合い、高め合おうとする関係を築き、他の人とのコミュニケーションの楽しさや大切さを実感させながら、互いにつながり、苦楽や成長の喜びを共有しながら生きていこうとする心情や態度を養う。

## III 単元の指導計画

### 1 目標

- 多くの人と積極的にかかわり、好きなものや苦手なものについて尋ねたり伝えたりしようとする。【コミュニケーション】
- 好きなものや苦手ものの尋ね方や伝え方に慣れ親しむ。【慣れる】
- 身近なものの言い方や、好きなものや苦手なもののお話し方について、日本語と英語の音の違いに気付く【気付く】

### 2 評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語の音声や表現に慣れる	言語や文化への気付き
①好きなものや苦手なものを伝えたり尋ねたりする活動を、多くの人で行っている。	②好きなものや苦手なもののお話し方や尋ね方に慣れ、相手に伝わるようにはっきりと話している。	③普段話している外来語と英語との発音(リズムやイントネーション)の違いに気付いている。

3 指導計画 (本時：5 / 5時間)

時間	主な学習活動	研究とのかかわり	指導上の留意点 (・) と評価 (○)
1	<p>①日本語で自分の好きなものや苦手なものを紹介する。</p> <p>②単元の活動内容を確認する。</p> <p>③紹介できるようになるために必要な活動を話し合い、活動の見直しをもつ。</p> <p>④単元を通じた自分の目指す姿を考える。</p>	<p>【見直しをもたせる場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のゴールを伝え、必要な活動を話し合う。</li> <li>・目指す自分の姿を考えさせる。</li> <li>・振り返りカードに活動や自分の姿の見直しを記述させ、紹介させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人に好きなものや苦手なものを話しながら、自己紹介カードを手渡すことをゴールとして確認する。</li> <li>○好きなものや苦手なものの紹介に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul> <p>&lt;評価①&gt;</p>
2	<p>①ウォーミングアップ</p> <p>②本時の活動内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>食べ物や飲み物、スポーツ、動物の言い方に慣れよう。</p> </div> <p>③ペアで、本時扱う言語材料を使ったコミュニケーションを行い、目指す自分の姿を考える。</p> <p>④メインアクティビティ</p> <p>⑤ペアで、振り返りを行う。</p>	<p>【見直しをもたせる場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで本時の表現方法を見合い、聞き合うことにより、学習前の自分の実態を把握させ、本時に目指す自分の姿を見通させる。</li> </ul> <p>【振り返りの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末段階で、導入段階と同じペアで同じ言語材料を話す場を設定し、互いの頑張りを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が紹介したいものを決めさせ、活動に対する意欲を高める。</li> <li>○様々な言葉の言い方に慣れ、言葉を使った活動に積極的に取り組んでいる。</li> </ul> <p>&lt;評価②&gt;</p>
3	<p>①ウォーミングアップ</p> <p>②本時の活動内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>好きなものや苦手なものの伝え方に慣れよう。</p> </div> <p>③ペアで、本時扱う言語材料を使ったコミュニケーションを行い、目指す自分の姿を考える。</p> <p>④メインアクティビティ</p> <p>⑤ペアで、振り返りを行う。</p>	<p>【見直しをもたせる場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで本時の表現方法を見合い、聞き合うことにより、学習前の自分の実態を把握させ、本時に目指す自分の姿を見通させる。</li> </ul> <p>【振り返りの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末段階で、導入段階と同じペアで同じ活動を行う場を設定し、互いの頑張りを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードの提示などの工夫を行い、話形に慣れるようにさせる。</li> <li>○言い方に慣れ、積極的に相手に伝えている。</li> <li>○好きなものと苦手なものを話す時の違いに気付く。</li> </ul> <p>&lt;評価③&gt;</p>
4	<p>①ウォーミングアップ</p> <p>②本時の活動内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>好きかどうか尋ねる言い方に慣れよう。</p> </div> <p>③ペアで、本時扱う言語材料を使ったコミュニケーションを行い、目指す自分の姿を考える。</p> <p>④メインアクティビティ</p> <p>⑤ペアで、振り返りを行う。</p>	<p>【見直しをもたせる場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで本時の表現方法を見合い、聞き合うことにより、学習前の自分の実態を把握させ、本時に目指す自分の姿を見通させる。</li> </ul> <p>【振り返りの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末段階で、導入段階と同じペアで同じ活動を行う場を設定し、互いの頑張りがや単元の活動を通じた変容を確認し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンツなどで話形に慣れさせる。</li> <li>○言い方に慣れ、積極的に相手に尋ねたり答えたりしている。</li> </ul> <p>&lt;評価④&gt;</p>
5 ※ 本 時	<p>①ウォーミングアップ</p> <p>②本時の活動内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>カードを渡しながら、好きなものなどを紹介したり尋ねたりしよう。</p> </div> <p>③ペアで、本時扱う言語材料を使ったコミュニケーションを行い、目指す自分の姿を考える。</p> <p>④メインアクティビティ</p> <p>⑤ペアで、振り返りを行う。</p>	<p>【見直しをもたせる場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで本時の表現方法を見合い、聞き合うことにより、学習前の自分の実態を把握させ、本時に目指す自分の姿を見通させる。</li> </ul> <p>【振り返りの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末段階で、導入段階と同じペアで同じ活動を行う場を設定し、互いの頑張りがや単元の活動を通じた変容を確認し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語で「なぜ好きなのか」などの理由を尋ねてもよいこととし、自然な流れでコミュニケーションが進むようにするとともに、より深く相手を知ろうとする態度を高める。</li> <li>○多く (人数として、友達以外など幅の広がりとして) の人に、積極的に伝えたり尋ねたりしている。</li> </ul> <p>&lt;評価⑤&gt;</p>

#### IV 本時の指導構想

手立て I 見通しをもたせる場の設定の手立て	期待する子どもの反応（心のつぶやき）
<p>&lt;学習の流れを見通す&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動内容を確認した後で、担任とG Tとのデモンストレーションを行い、コミュニケーションの流れを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように話すのだったかなあ？</li> <li>・よし、話す内容が分かったぞ！</li> <li>・何を話すか、決めたぞ！</li> </ul>
<p>&lt;目指す自分の姿を見通す&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容を確認した後、ペアで本時の表現方法を見合い、聞き合うことにより、学習前の自分の実態を把握させ、本時に目指す自分の姿を見通させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尋ねるところが難しいので、相手に分かるように質問しよう。</li> <li>・より多くの人と話すぞ！</li> <li>・〇〇さんのような話し方ができるようにがんばるぞ！</li> </ul>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>目指す自分の姿 に近づこうとする 目的意識</b></p> </div> <div style="font-size: 2em;">←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>&lt;メインアクティビティ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり聞くぞ。・伝わるように話そう。</li> <li>・友達のことが分かって楽しい。</li> </ul> </div> </div>	
手立て 2 振り返り活動	期待する子どもの反応（心のつぶやき）
<p>&lt;振り返り方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入段階で活動したペアで初めと同じ活動を行い、互いの変容を振り返るようにさせる。</li> <li>・自己評価と相手による他者評価を取り入れ、コミュニケーションの高まりを実感させたり、アドバイスを送り高め合う関係性を築いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の活動を通して、友達はどういうことをがんばったかなあ？</li> <li>・初めの時よりはもっと伝わるように友達に話せるようにがんばろう。</li> </ul>
<p>&lt;振り返る視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価は、導入段階で設定した目指す自分の姿を振り返る。その際、本時の頑張りだけではなく、単元を通じた自分の成長も触れるようにさせたい。</li> <li>・ペアの相手による他者評価では、記述内容に対する感想だけではなく、本時や単元の導入段階と比較した友達の頑張りや変容の様子を記述させたい。（さらにこのようなところをがんばるとよいのではないかと、という視点で友達に教えることもよいことにする。）</li> </ul>	<p>&lt;自己評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は自信がなかったけれど、いろいろな人と話すことで自信をもってしっかりと話せるようになった。</li> <li>・うまく言葉が出てこなくて、相手に伝えることができなかったなあ。</li> </ul> <p>&lt;他者評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自信がないようだけれど、前よりもずっと表情よく話せるようになったよ。</li> <li>・次の活動では、相手を見たり笑顔で話したりすると、もっとよくなると思うよ。</li> </ul>

#### V 本時の指導計画

##### 1 目標

- 自己紹介カードを手渡ししながら、好きなものや苦手なものを話したり尋ねたりする。

##### 2 評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

多く（人数として、友達以外など幅の広がりとして）の人に、積極的に伝えたり尋ねたりしている。

特定の相手とのコミュニケーションなど幅が広がらない子どもには、担任やG Tと話すことを促す。  
また、積極的な子どもには、参加者へ話したりより多くの友達と活動したりすることを促す。

3 展開

段階	主な学習活動	期待する子どもの反応	時間	研究にかかわる手立て	留意点（・）と評価（◆）
導入	<p>1 あいさつとウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンツ</li> </ul> <p>2 本時学習内容の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>好きなものを入れて、自己紹介をしよう。</p> </div> <p>3 デモンストレーション</p> <p>A: My name is ○○. I like ○○. I like □□. . . . Do you like □□?</p> <p>B: Yes, I do. Do you like ◇◇? . . . .</p> <p>4 目指す自分の姿の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように話すのかなあ？</li> <li>・よし、話す内容が分かったぞ！</li> <li>・自分は何を伝えよう？</li> <li>・今日は、相手に分かるように質問しよう。</li> <li>・より多くの人と話すぞ！</li> <li>・○○さんのように話せるようにがんばるぞ！</li> </ul>	10	<p>&lt;学習の流れを見通す&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任とGTとのデモンストレーションを行い、コミュニケーションの流れを確かめる。</li> </ul> <p>&lt;目指す自分の姿を見通す&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで聞き合うことで、今の自分の実態を把握させ、本時に目指す自分の姿を見通させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テンポよく進めることで、楽しい雰囲気作りに努める。</li> <li>・前時までの活動内容や掲示によって、本時の活動内容を確認する。</li> <li>・音声だけではなく、子どもの実態に応じて、絵カードなども活用し、マッチングさせる。</li> <li>【GTの役割】担任との会話を通して、児童に手本を示す。</li> <li>・単元を通じた評価プリントに記述させる。これまでの自分の成果を踏まえて、設定させたい。</li> </ul>
展開	<p>5 メインアクティビティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話の流れを再度確かめる。（一斉、ペア、小集団）</li> <li>・カードを渡ししながら、全体での交流活動（友達と、担任やGTと、参観者と）</li> </ul>	<p>A: My name is ○○. I like ○○. I like □□. . . . Do you like □□?</p> <p>B: Yes, I do. Do you like ◇◇? . . . .</p>	20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・話題を広げてもよいことを伝え、コミュニケーションの活性化を図る。</li> <li>・新たな発見や相違点への関心をもたせる。</li> <li>【GTの役割】児童との会話を行い、活発な交流が行われるようにする。</li> <li>◆積極的に「好きなもの」や「苦手なもの」を紹介したり尋ねたりしようとする。（観察）</li> </ul>
終末	<p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで聞き合う。</li> <li>・カードに記述する。</li> </ul> <p>7 GTの評価</p> <p>8 あいさつ</p>	<p>&lt;自己評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもってしっかりと話せるようになった。</li> <li>・うまく相手に伝えられなかったなあ。</li> </ul> <p>&lt;他者評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前よりもずっと表情よく話せるようになったよ。</li> <li>・相手を見たり笑顔で話したりすると、もっとよくなるのではないかなあ？</li> </ul>	15	<p>&lt;自他の活動を振り返る&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入段階で活動したペアで初めと同じ活動を行い、互いの変容を振り返る。</li> <li>・自己評価と相手による他者評価を取り入れ、コミュニケーションの高まりを実感させたり、アドバイスを送り高め合う関係を築いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入段階で設定した自分の姿を振り返る。単元を通じた自分の成長も触れさせたい。</li> <li>・ペアによる他者評価では、導入段階と比較した友達の頑張りや変容の様子を記述させたい。</li> <li>【GTの役割】子どもたちの頑張りや位置付ける。</li> </ul>